



すべり止めコート施工事例 No.001

ユーザー：工場建屋屋外階段

使用製品：すべり止めコート・グリーン

施工箇所：屋外階段／人の往来／約2.5㎡

使用量：1セット(5kg)

被着体：コンクリート面と金属製の段鼻部

下地準備：ワイヤーブラシにて清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：施工前は、雨天時に滑り易かった。

施工後は安心して階段を利用することができるようになった。



[写真-1]

施工前の階段。

雨天時は吹き込んだ雨で滑るので非常に危険。



[写真-2]

工場長の指示で、塗布位置を決定。

コンクリートの損傷を超速鉄メタルで緊急補修することとなった。



すべり止めコート施工事例 No.001



[写真-3]
超速鉄メタル。
完全硬化時間1時間。(at25°C)

すべり止めコートの塗布面のみ
補修するように工場長の指示を
戴く。



[写真-4]
超速鉄メタル。
施工後。

施工時気温30°C超えのため、
硬化時間は、20分程度。



[写真-5]
マスキング処理。
養生テープにてマスキング。

塗布面；
400mm × 250mm × 24段



すべり止めコート施工事例 No.001



[写真-6]

塗布方法:

塗布面へ直接すべり止めコートを金ベラで塗り広げ、直ちに直毛ローラーにて仕上げ塗布を実施した。

塗布後(硬化前)にマスキングテープを除去。



[写真-7]

塗工完了。

施工が金曜日で、月曜日の朝まで放置し、硬化養生。

以上



すべり止めコート施工事例 No.002

ユーザー：廃棄物処理工場

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：屋外階段／縞鋼板

使用量：2セット(10kg)

被着体：金属

下地準備：清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスクング

評価：好評

備考：施工前は、雨天時にステップが滑り危険であった。
施工後は安定して往来することができ、安全が確保された。

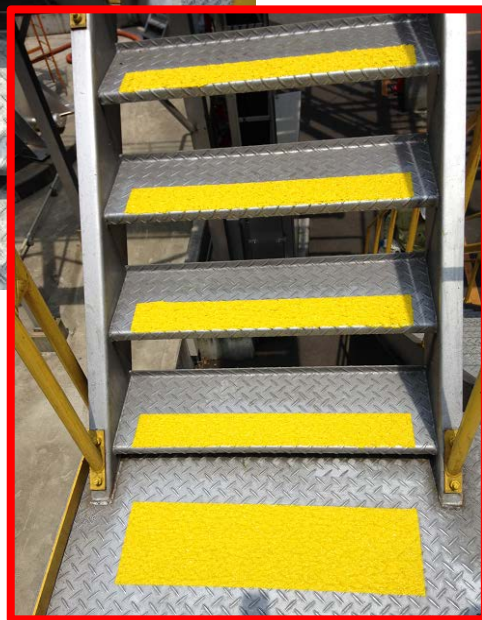


[写真-1]

施工前の階段

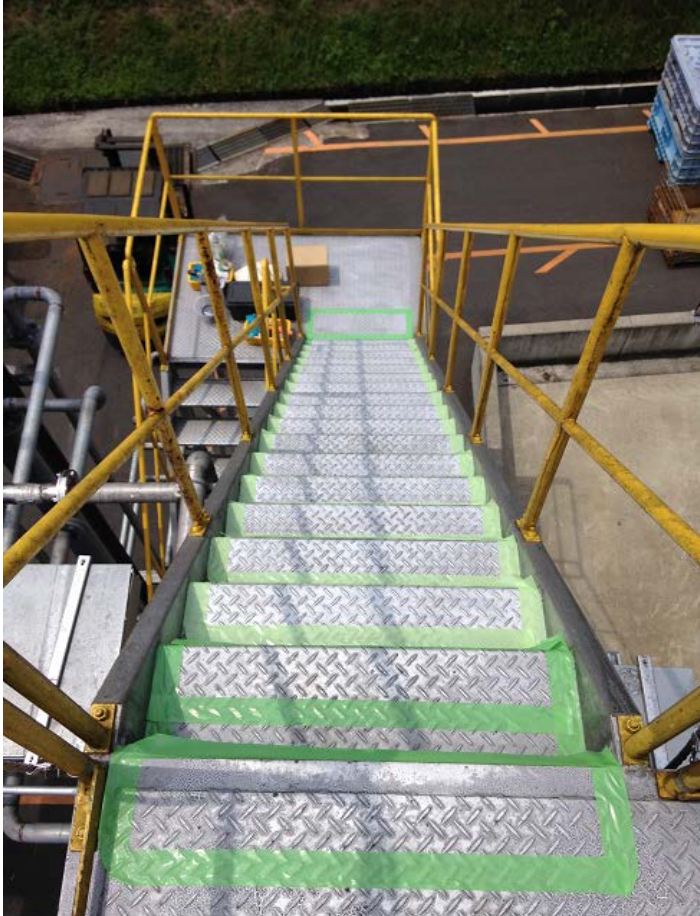
すべり止めテープすら貼ることなく
防滑対応が為されていなかった。

雨天時など、スリップして危険な
状態であった。

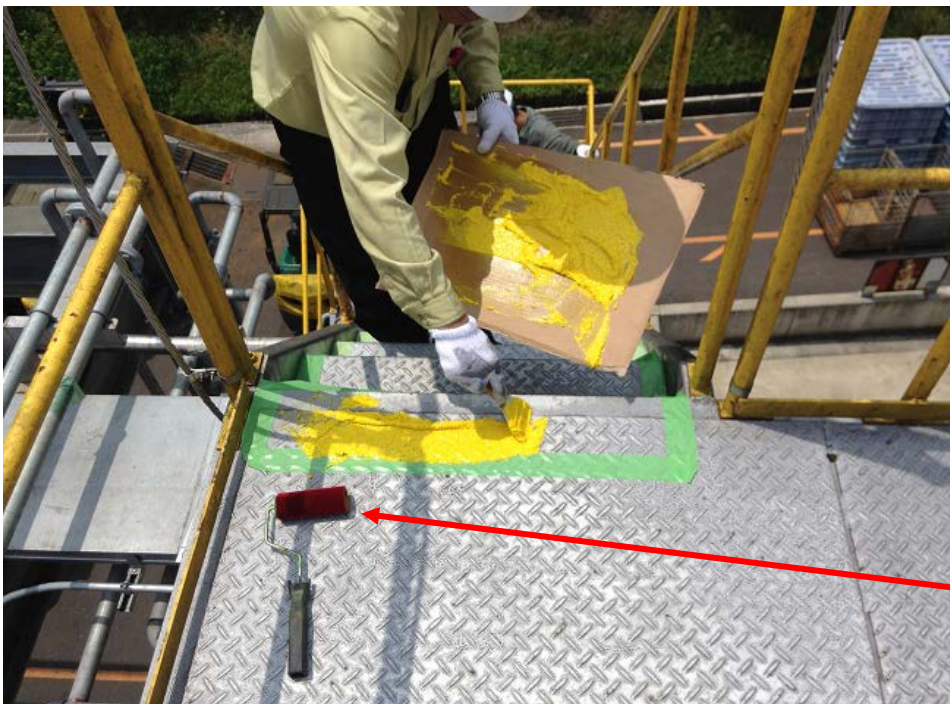




すべり止めコート施工事例 No.002



[写真-2]
清掃後にマスキング処理実施。



[写真-3]
混合したすべり止めコートを
金ベラにて塗り広げる。

短毛ローラー



[写真-4]
マスキング除去。

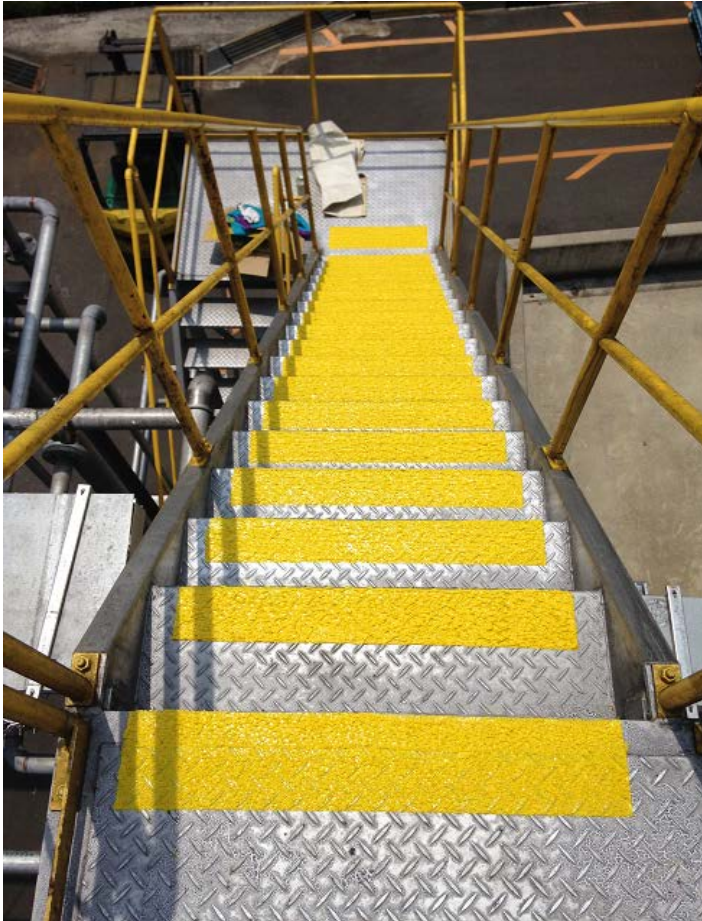
塗布面；
約800mm × 150mm
× 23箇所

階段塗工の際は、
すべり止めコートを塗布しながら、
マスキングテープを除去してゆく。



[写真-5]
塗布方法；
任意の量を塗布面に置く。
次に、専用ローラーで樹脂を
塗り広げてゆく。

縞鋼板の場合は「短毛ローラー」
使用することで、
薄く均一に塗布することが
可能となる。



[写真-6]
塗布完了。
↓
硬化養生。

一晩放置。



[写真-7]
短毛ローラーを使うことで
縞鋼板への塗布も、
均一に薄く塗布することが
可能となる。

以上



すべり止めコート施工事例 No.003

ユーザー： 電鉄会社の車両整備基地

使用製品： すべり止めコート・イエロー

施工箇所： 整備場床面／コンクリート(塗装面)

使用量： 8セット(40kg)

被着体： コンクリート塗装面

下地準備： アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価： 好評

備考： 整備場なので、油分が床面に付着する。車輛を人力で移動させる際に、すべり止めコートの塗工によって“踏ん張り、が効くようになり、仕事がスムーズに行えるようになった。



[写真-1]

施工前の作業場床面。

滑り易く“踏ん張り、が効きずらいため、整備車輛を人力で移動させるのが大変。



[写真-2]

すべり止めコートの塗工終了。

約一晩の硬化養生時間を設ける。



すべり止めコート施工事例 No.003



[写真-3]
マスキング処理。

塗布面；
8000mm × 300mm



[写真-4]
すべり止めコートの主剤容器へ
硬化剤を全量移し替えて、
約2分間手動混合。

その後、今後したすべり止め
コートを防滑したい床面へ
垂らしてゆく。



[写真-5]

塗布方法;

紙管ローラーを用いて、混合したすべり止めコートを塗り広げてゆく。



[写真-6]

塗工完了。

塗布後(硬化前)に
マスキングテープを除去して、
硬化養生する。

以上



すべり止めコート施工事例 No.004

ユーザー：廃棄物処理工場

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：作業用ステップ

使用量：1セット弱(2kg弱)

被着体：金属

下地準備：清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：施工前は滑り止めテープで防滑対策をしていたが、油分が付着したりステップを昇降するたびにグリップ力が低減していたが、高耐久性のすべり止めコートを塗布して問題を解決できた。



[写真-1]

施工前の階段

滑り止めテープを除去して、アセトンで洗浄。



[写真-2]

マスキング。

客先の意向で、ステップ全面にすべり止めコートを塗工する。



すべり止めコート施工事例 No.004



[写真-3]

今回は、デジタル秤を使用し、必要な分量を小分けしてから主剤と硬化剤を混合攪拌。

混合したすべり止めコートを防滑処理をしたい面へ直接垂らす。



[写真-4]

混合したすべり止めコートを金ベラにて塗り広げる。

その後に、短毛ローラーで凹凸をつける。

短毛ローラー



すべり止めコート施工事例 No.004



[写真-5]
金ペラで塗り広げているところ。



[写真-6]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキング
を除去し、硬化養生させる。

一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.005

ユーザー : 化学工場

使用製品 : すべり止めコート・グリーン

施工箇所 : 従業員駐車場からのスロープ

使用量 : 8セット(40kg)

被着体 : アスファルト

下地準備 : 掃除、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価 : 好評

備考 : 冬期降雪によるスリップが発生し、年に数名の従業員が転倒するアスファルトのスロープ。最も滑り易いシャーベット状の雪にグリップ力を発揮する。



[写真-1]

清掃、アセトン脱脂後にマスキング。

紙管ローラーにてすべり止めコートを塗工。

人の往来に対して、垂直方向へローラーを転がす。



[写真-2]

すべり止めコートの塗工終了。

約一晩の硬化養生時間を設ける。

以上



すべり止めコート施工事例 No.006

ユーザー：倉庫事業、港湾運送事業者

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：縞鋼板製屋外通路

使用量：1セット未満(1kg弱)

被着体：金属

下地準備：清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：施工前は並走するベルトコンベア(石炭輸送)から飛散する“石炭の粉、でスロープが滑って危険状態。滑り止めテープの数十倍の耐久性と優れたグリップ力を有するすべり止めコートは好評。



[写真-1]

施工前のスロープ。

滑り止めテープで防滑対策をしているが、テープの寿命は短くて、防滑効果も満足できていなかった。

写真では分かり難いが、右側にベルトコンベアがあり、石炭を搬送する。

その際に石炭粉が飛散して、滑り易くなる。



[写真-2]

清掃。

旧滑り止めテープを剥がして、アセトンにて脱脂洗浄。



すべり止めコート施工事例 No.006



[写真-3]
マスキングする。



[写真-4]
小分けして必要な量の
すべり止めコートの主剤、硬化剤
を計量し、約2分程度念入りに
混合攪拌を行う。



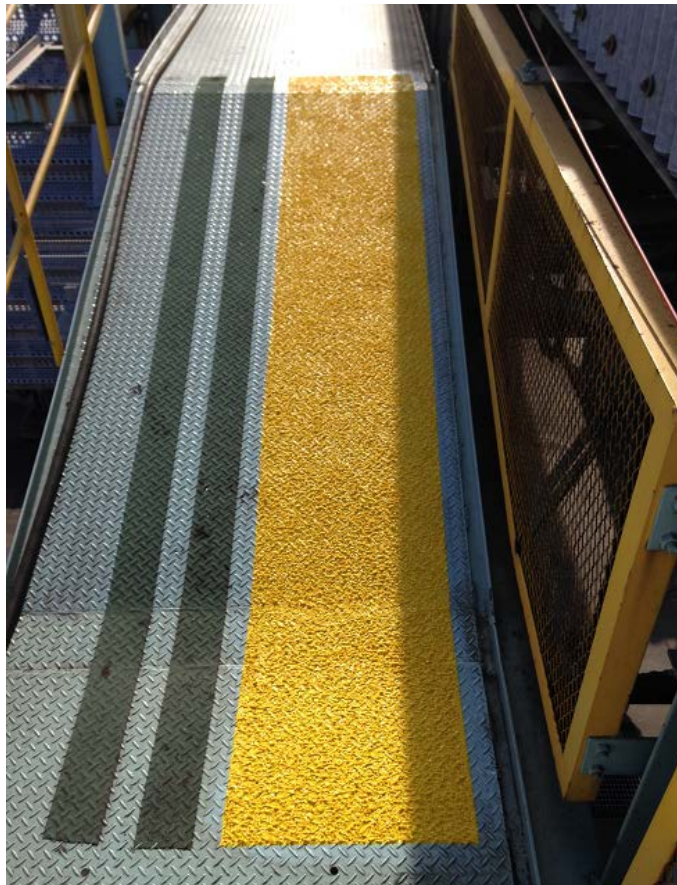
すべり止めコート施工事例 No.006



[写真-5]

金ベラで塗り広げているところ。

この後、短毛ローラーにて凹凸をつける。



[写真-6]

塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキングを除去し、硬化養生させる。

20°C～25°Cで、一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.007

ユーザー：プラスチック部品成型工場

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：射出成型機／装置周り

使用量：1セット未満(約1kg)

被着体：金属

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：油分や離型剤等が飛散して、射出成型機の周囲は滑りく、滑り止めテープで防滑対策を実施していたが、耐久性、防滑効果に優れたすべり止めコートに変えて好評。



[写真-1]

施工前の射出成型機周り。

塗料は剥がれ、油分で滑る危険な状態。



[写真-2]

施工前の射出成型機周り。

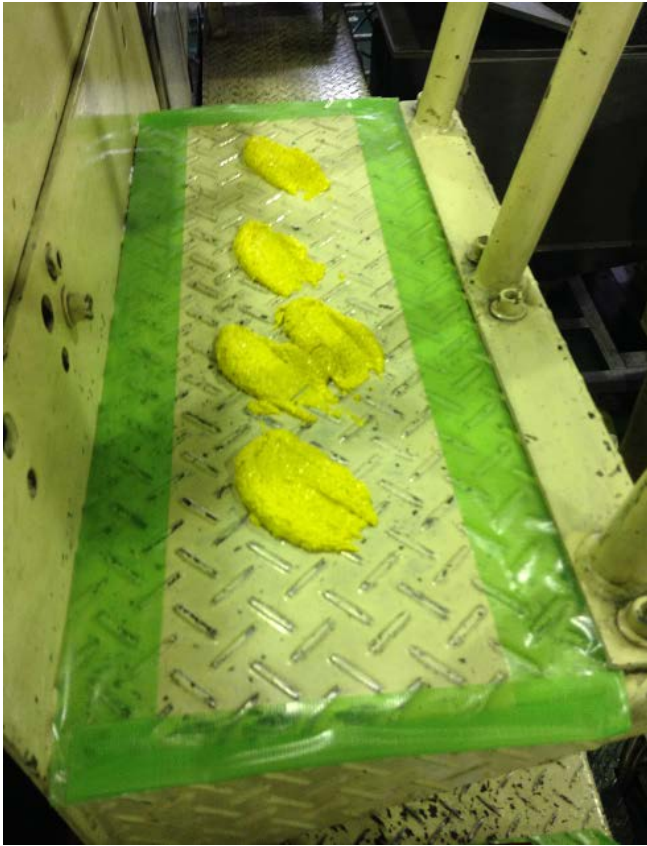
塗料は剥がれ、油分で滑る危険な状態。



[写真-3、4]
アセトンにて油分を完全脱脂。



[写真-5]
マスキング。



[写真-6]

必要な量を計算(塗布面積を計算)し、秤を使って小分けした すべり止めコートを混合攪拌後、防滑処理したい面へ直接置いてゆく。



[写真-7]

塗布方法;

最初に金ベラで薄く塗り広げる。

次に、短毛ローラーを用いて、混合したすべり止めコートの面に凹凸を付ける。



[写真-8]
塗布終了後、直ちにマスクング
を除去して、硬化養生。



[写真-9]
養生時間は、16時間程度。

以上



すべり止めコート施工事例 No.008

ユーザー : 大型機械装置製造メーカー

使用製品 : すべり止めコート・グリーン

施工箇所 : 屋内縞鋼板ステップ

使用量 : 1セット未満(2kg強)

被着体 : 金属

下地準備 : 清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価 : 好評

備考 : 施工前は滑り止めテープを貼り防滑対策を行っていたが、油分を含んだスケールが付着し、すぐに防滑効果が低下。すべり止めコートの優れたグリップ力は好評。



[写真-1]
施工前のスロープ。

滑り止めテープで防滑対策をしているが、テープの寿命は短くて、防滑効果も満足できていなかった。

写真では分かり難いが、部分的に浮いているところもある。

[写真-2]
滑り止めテープの除去。

旧滑り止めテープを剥がして、アセトンにて脱脂洗浄。



[写真-3]
マスキング。



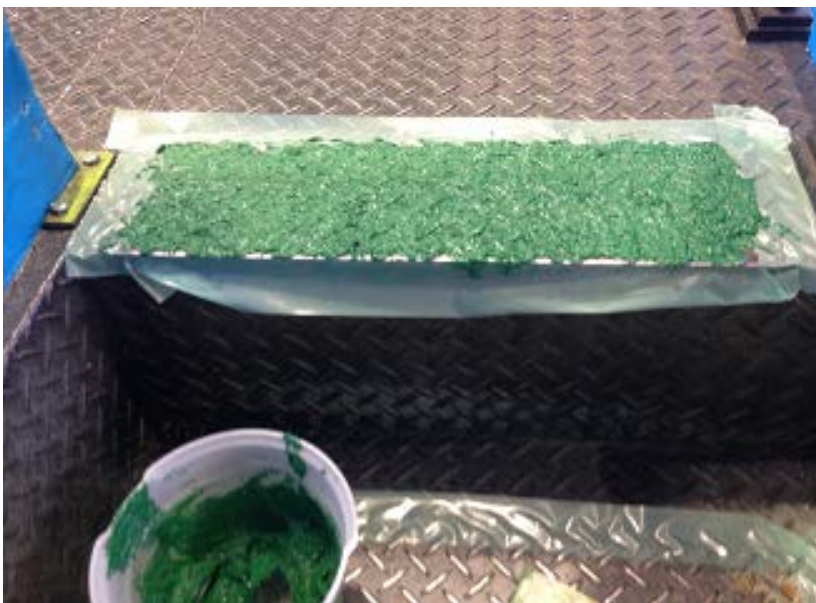
すべり止めコート施工事例 No.008



[写真-4]
すべり止めコートの主剤と硬化剤を秤を用いて小分けする。



[写真-5]
混合した すべり止めコートを塗布面へ適量置いてゆく。



[写真-6]
小分けして必要な量のすべり止めコートの主剤、硬化剤を計量し、約2分程度念入りに混合攪拌を行う。



すべり止めコート施工事例 No.008



[写真-7]

短毛ローラーにて塗り広げる

縞鋼板の際は、短毛ローラーを推奨。



[写真-8]

塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキングを除去し、硬化養生させる。

20°C～25°Cで、一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.009

ユーザー：ケーブル製造工場

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：コンクリート・スロープ

使用量：1セット未満(約2kg)

被着体：コンクリート・スロープ

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：雨天時、フォークリフトがスリップし危険なため、安全対策にすべり止めコートで対応。
車両の滑り止めにも優れた防滑性能を示し、好評。



[写真-1]

施工前のスロープ。

色調の異なる奥側の路面が
雨天時にフォークリフトがスリップして危険。



[写真-2]

マスキング。

フォークリフトの車輪間隔に
合わせて、すべり止めコートを
塗布する事を現場が希望。



[写真-3、4]
塗工。

混合した すべり止めコートを
路面へ置いてゆき、
紙管ローラーで塗り広げる。



[写真-5]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキング
を除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.010

ユーザー : 製油工場

使用製品 : すべり止めコート・グレー

施工箇所 : 屋外縞鋼板ステップ/テスト施工

使用量 : 1セット未満(1kg弱)

被着体 : 金属

下地準備 : 清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価 : 好評

備考 : 特に防滑対策を行っていなかったが、製油工場なので油分でスリップする危険箇所があり、すべり止めテープの防滑効果を検証する意味でテスト施工実施。 → 優れたグリップ力が好評。



[写真-1]

施工前のスロープ。

特に防滑対策をしていない。



[写真-2]

マスキング。



[写真-3]

すべり止めコートの主剤と硬化剤を秤を用いて小分けする。

混合した すべり止めコートを短毛ローラーで塗布する。

縞鋼板へ塗布する時は、短毛ローラーを推奨。



[写真-4]

塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキングを除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.011

ユーザー：セラミック製部品製造メーカー

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：廃液処理地区縞鋼板階段&防液堤

使用量：1セット未満(約1kg)

被着体：金属&コンクリート塗装表面(テスト施工)

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：雨水、降雪時にスリップして危険な箇所。従来の滑り止めテープの防滑性、耐久性に満足できていないことから、テスト施工実施。→ すべり止めコートの性能に好評価。



[写真-1]

施工前の縞鋼板ステップ。

滑り止めテープが貼られているが、ユーザー側は効果に満足していない。

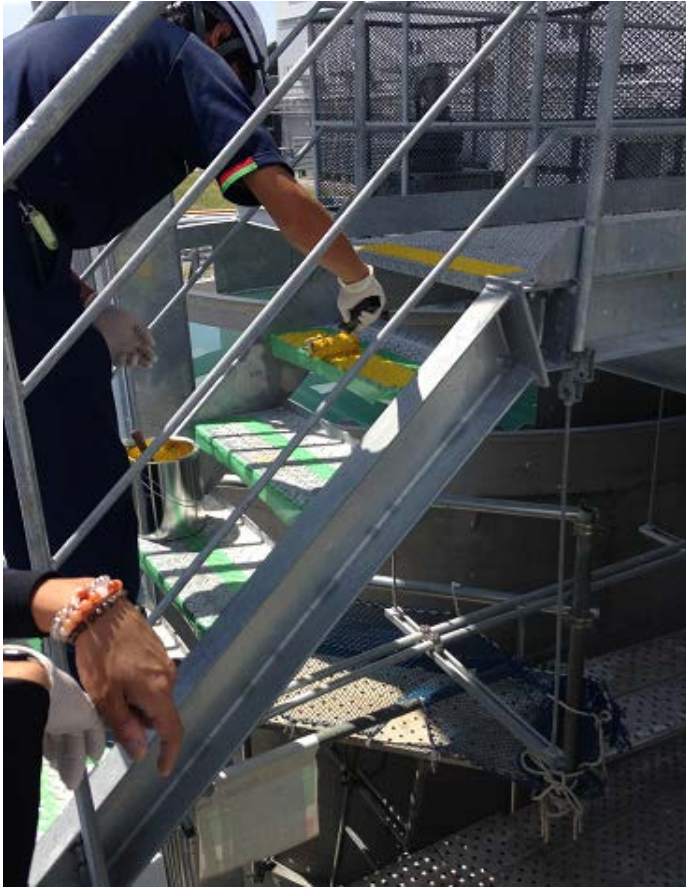


[写真-2]

滑り止めテープの除去後に、アセトンを用いて脱脂、洗浄を行う。



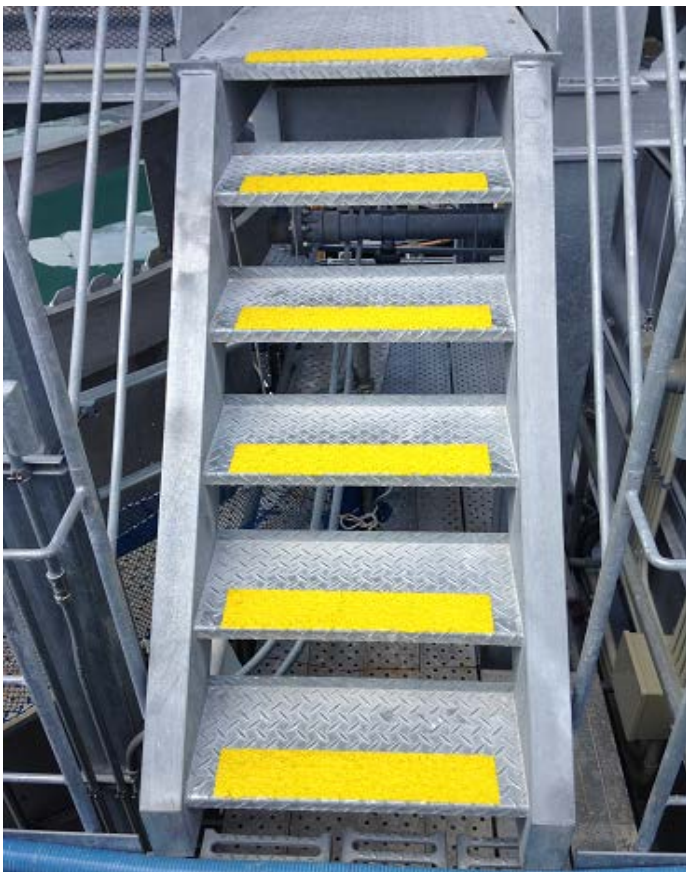
すべり止めコート施工事例 No.011



[写真-3]

マスクング後に、
すべり止めコートを小分けしてから混合し、
短毛ローラーにて塗工。

左の写真は、ユーザーが実際に
作業を行っている。



[写真-4]

塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスクング
を除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晩放置。



すべり止めコート施工事例 No.011



[写真-5]

防液堤が雨天時にスリップしやすい、とのことでテスト塗りを実施。

紙管ローラーにて塗工。



[写真-6]

階段基礎部のモルタルで降雪時等にスリップするとの事。すべり止めコートでテスト施工を実施。

以上



すべり止めコート施工事例 No.012

ユーザー : 化学工場

使用製品 : すべり止めコート・グリーン

施工箇所 : 中和槽の屋外モルタル階段

使用量 : 1セット

被着体 : モルタル、タイル

下地準備 : 清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価 : 好評

備考 : 施工前は滑り止めテープを貼り防滑対策を行っていたが、経年劣化で防滑効果が無くなってしまっている。一部分、滑り止めテープを剥がさないで塗工した。優れたグリップ力が好評。



[写真-1]

施工前のモルタル階段。

滑り止めテープで防滑対策をしているが、テープの寿命は短くて、防滑効果も満足できていなかった。

写真では分かり難いが、化粧タイルの段鼻の部分に貼られている「滑り止めテープ」は部分的に剥がれているところもある。

滑り止めテープが、タイル面に協力に接着している部分はその上から塗布することにした。



[写真-2]

旧滑り止めテープを剥がして、アセトンにて脱脂洗浄。

マスキング。

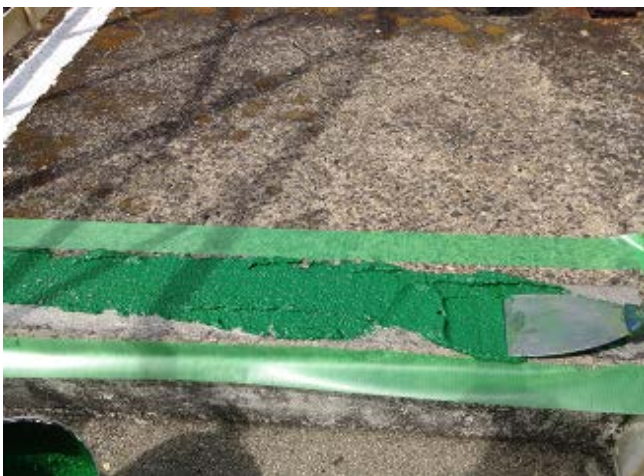


[写真-3]
マスキング。



[写真-4]
混合した すべり止めコートを
塗布面へ適量置いてゆく。

紙管ローラーで塗工。



[写真-5]
金ベラで、すべり止めコートを塗り広げてから
紙管ローラーにて凹凸をつける。



すべり止めコート施工事例 No.012



[写真-6]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスクング
を除去し、硬化養生させる。

一晩放置。



[写真-7]
塗工完了

以上



すべり止めコート施工事例 No.013

ユーザー：機械装置製造メーカー

使用製品：すべり止めコート・グリーン

施工箇所：屋内階段(パンチングメタル&縞鋼板)

使用量：1セット未満(2kg)

被着体：金属(テスト施工)

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：機械部品製造の工程でマシニング設備周辺は、オイル等で滑り易い。既設の滑り止めテープの効果に満足できていないことから、テスト施工実施。→ すべり止めコートの性能に好評価。



[写真-1]

すべり止めコート グリーン 5kgsetを秤を用いて小分けして使用する。



[写真-2]

使い捨てのポリ容器に、主剤:硬化剤=9:1(重量比)にて計量。



[写真-3]

混合後のすべり止めコート。

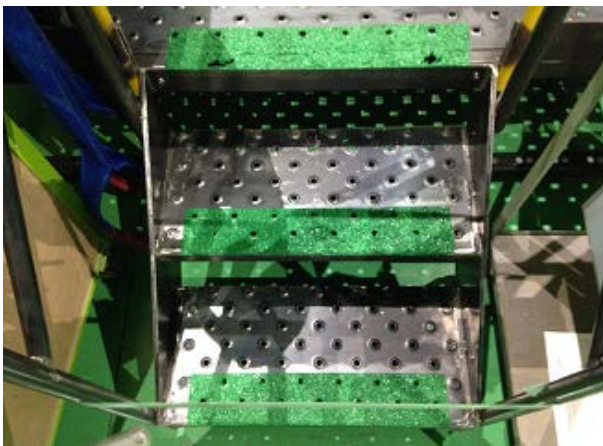
→ 左側は、短毛ローラー。



[写真-4]
脱脂洗浄後、マスキング。

パンチングメタルは、部分的に穴が開いているので、塗布の際は、下へ材料(すべり止めコート)が落下しても大丈夫なような養生をする。

今回の作業では、短毛ローラーで塗布時に、ステップの下側に段ボールで“受け”をして穴から落ちてくる材料で汚れないように工夫した。



[写真-5]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキングを除去し、硬化養生させる。



[写真-6]
塗工完了

テープを貼り“通行止め”にする。

硬化養生時間:20℃～25℃で、一晚(16時間)



[写真-7]
マスキング。

縞鋼板でも同様の作業で、脱脂洗浄後にマスキングをして、塗布の準備をする。



[写真-8]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキングを除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晩放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.014

ユーザー	: 製鉄所	使用製品	: すべり止めコート・グリーン
施工箇所	: 屋内縞鋼板階段(テスト施工)	使用量	: 1セット
被着体	: 金属		
下地準備	: 清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング		
評価	: 好評		
備考	: 施工前は滑り止めテープを貼り防滑対策を行っていたが、油分と劣化で防滑効果が無くなってしまっている。一部分、滑り止めテープを剥がさないで塗工した。優れたグリップ力が好評。		



[写真-1]
縞鋼板階段。
油分でスリップし易く危険。
滑り止めテープでは、耐久性・防滑性能ともに満足できていない。

アセトンにて脱脂洗浄。



[写真-2]
マスキング。



[写真-3]
すべり止めコートを小分けして使用する際は、秤を用いて必要量のみ小分けする。

残りは容器を密閉し冷暗所で保管。
半年後でも使用可能。



すべり止めコート施工事例 No.014



[写真-4、5]

縞鋼板へ塗工する際は、短毛ローラーを使用。
長さが23cmあるので、カッターで半分にカットしておく。



[写真-6]

混合した すべり止めコートを
塗布面へ適量置いてゆく。



[写真-7]

金べらで、すべり止めコートを塗り広げてから
短毛ローラーにて凹凸をつける。



[写真-8]
階段の上部と下部は、注意喚起の意味を含めてイエローにて塗工。



[写真-9]
滑り止めテープの上から、すべり止めコートを塗工。

左の写真では、黄色の滑り止めテープが非常に強力に粘着性を残していたので、剥がさずにその上から、少し広めにすべり止めコートを塗布している。



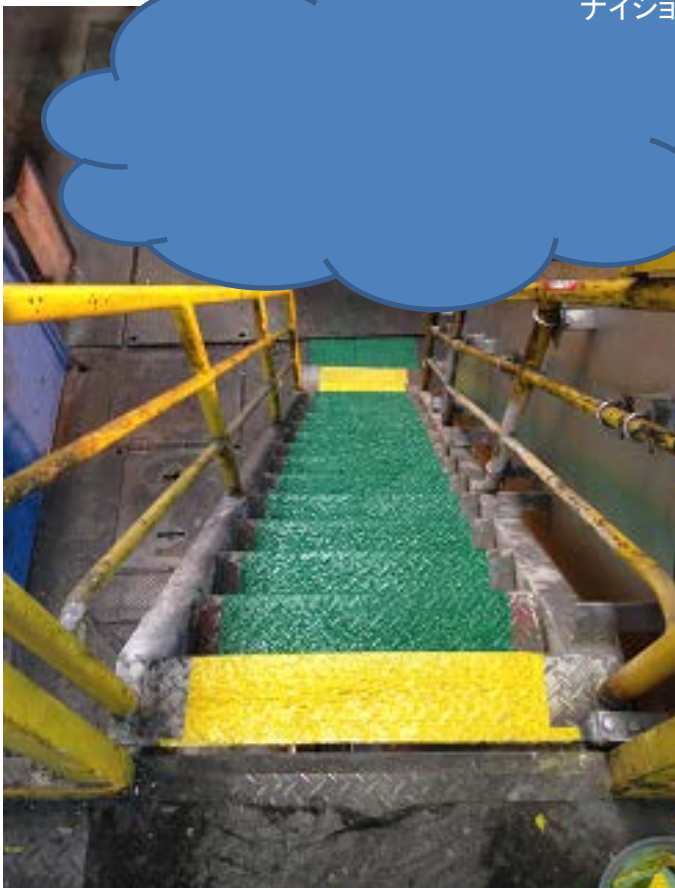
[写真-10]
短毛ローラーを用いることで、縞鋼板の縞模様が浮かび上がるほどに、薄く均一に凹凸をつけることができる。



すべり止めコート施工事例 No.014



[写真-11]
階段を下りきった最後の地面の部分へも塗工。



ナイショ!

[写真-12]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキング
を除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晚放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.015

ユーザー：化学工場・自家発設備

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：屋内階段(縞鋼板)

使用量：1セット未満(1kg未満)

被着体：金属(テスト施工)

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

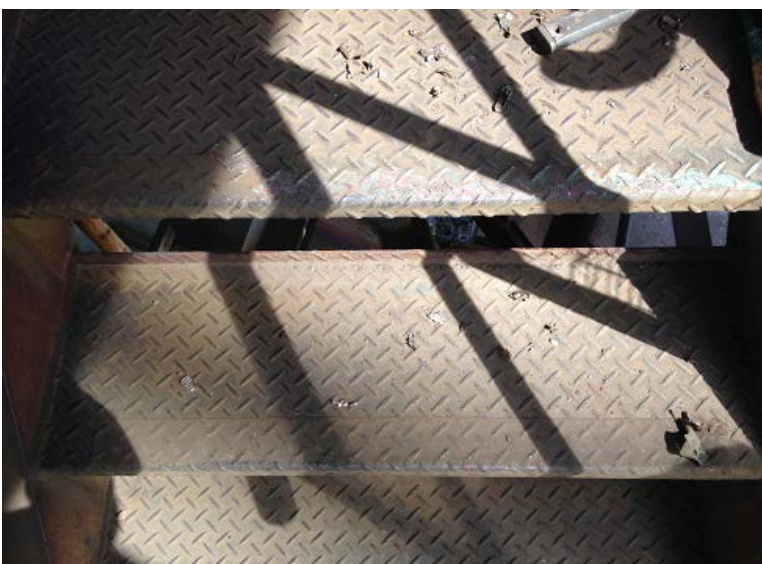
備考：自家発設備の屋外縞鋼板の階段の防滑対策でテスト施工実施。既存の滑り止めテープでは防滑性能が満足できない。テスト施工の結果は好評で、来期予算で防滑対策の材料に決定！



[写真-1]

施工前の縞鋼板ステップ。

滑り止めテープが貼られているが、経年劣化で防滑効果は損なわれており、
雰囲気も悪く、粉塵が飛散したり、雨水による影響でスリップの危険性をはらんでいる。



[写真-2]

既存の滑り止めテープの除去と清掃。

滑り止めテープは、浮き等が発生すると錆を呼ぶので、下地処理としてワイヤーブラシでケレン作業を実施。



[写真-3]
脱脂洗浄後、マスクング。

完璧なケレンの必要は無いが、人力でケレン
人力でケレンして取れる物は除去する。



[写真-4]
脱脂洗浄後、マスクング。



[写真-5]
すべり止めコートを金ベラで塗り広げてから、
短毛ローラーにて凹凸を付ける。



[写真-6]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキング
を除去し、硬化養生させる。

20℃～25℃で、一晚放置。

以上



すべり止めコート施工事例 No.016

ユーザー：一般住宅

使用製品：すべり止めコート・グレー

施工箇所：住宅／車庫側出入り口

使用量：1セット未満(3kg弱)

被着体：コンクリート

下地準備：清掃後、マスキング

評価：好評

備考：雨天時に濡れたコンクリート床が滑り、小さな子供のいる家でもあり、家主が自ら塗工。すべり止めテープの欠点である意匠性を工夫し、見栄え良く仕上げて、好評。



[写真-1]

車庫の屋根部と住宅の間に隙間があり、雨天時、出入り口付近が滑って危険であった。

マスキングを工夫して、デザイン性を持たせることで、すべり止めコートの見栄えがよくなり、好評。



[写真-2]

家主が子供と一緒に休日で施工した。

初めての方でも、防滑性のフロアーが簡単に出来、また意匠性を工夫したことで満足されている。

紙管ローラー仕上げ。

以上



すべり止めコート施工事例 No.017

ユーザー：製鉄所／焼結・スタッカー

使用製品：すべり止めコート・グリーン

施工箇所：屋外スロープ

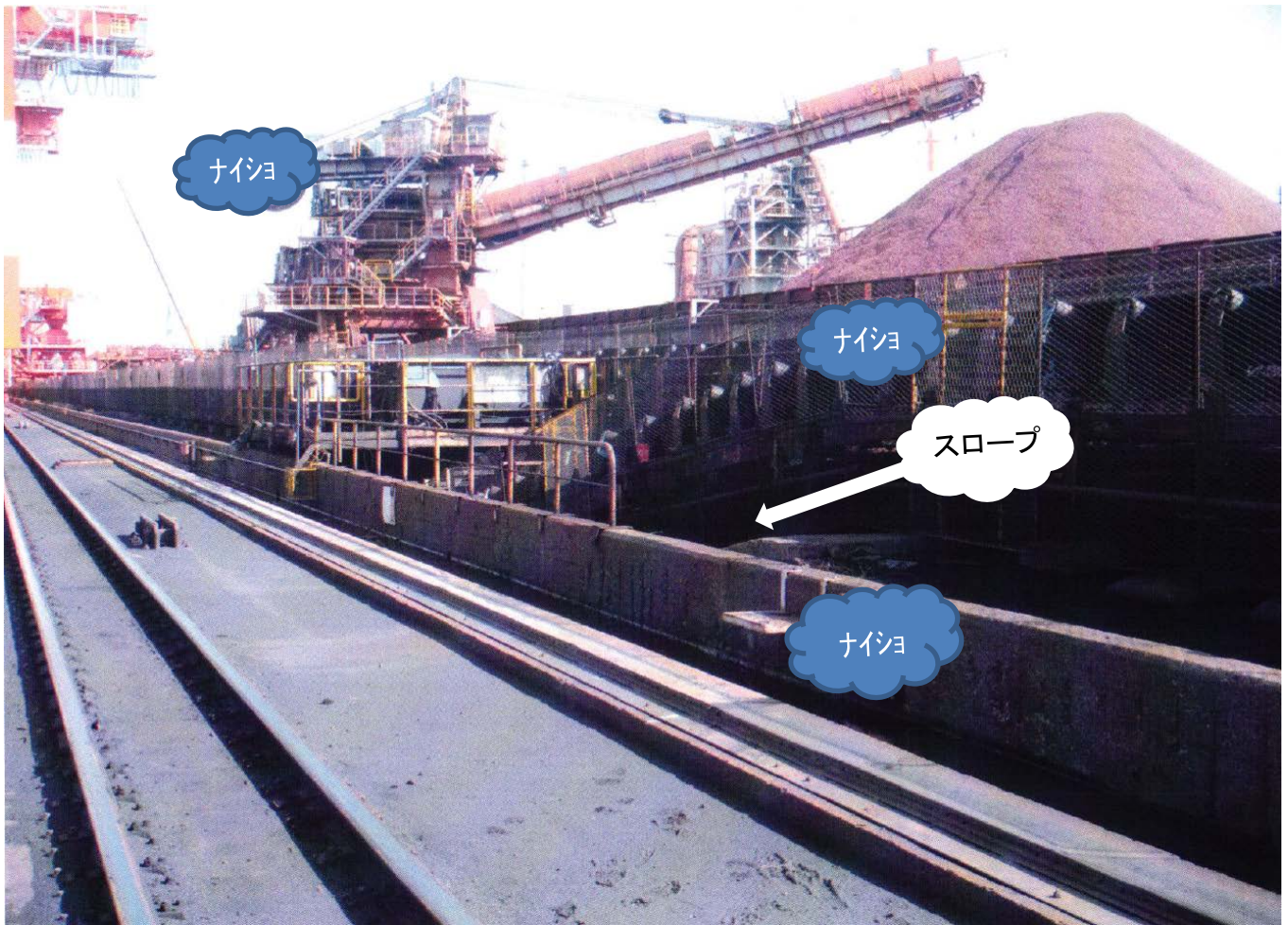
使用量：2セット

被着体：コンクリート

下地準備：水洗浄後、路面を乾燥状態に放置してから「すべり止めコート」を施工。

評価：大好評

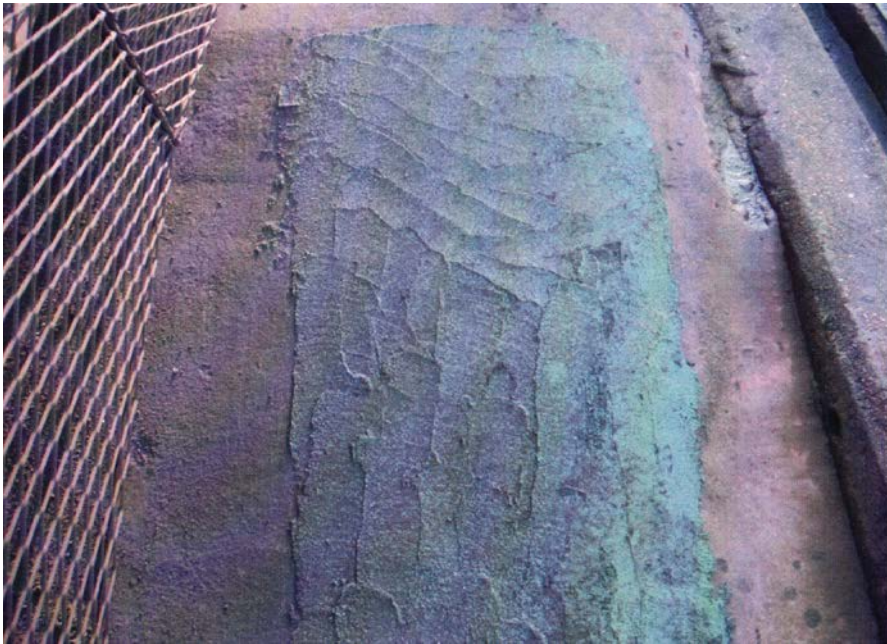
備考：焼結・アンローダー付近のコンクリート・スロープが、雨水や粉塵等で滑り易く危険な状況であった。操業担当者が自ら施工し、簡単に防滑路面を形成でき、大好評！



[写真-1]

すべり止めコートの塗布現場全景

雨水、粉塵等でコンクリート・スロープが滑り易く危険な状況であった。
現場環境が悪く、滑り止めテープや塗装＋砂などの従来 of 防滑対策では満足できる
対応策とはならなかった。
影響でスリッパの危険性をはらんでいる。



[写真-2]

水洗浄後、路面を乾燥させてから
すべり止めコートを塗工。

マスキング無し。



[写真-3]

塗工後、半年経過しても
防滑効果は十分に満足のゆくもの
であったため、このあと追加で
すべり止めコートの塗布範囲を拡大
した。

以上



すべり止めコート施工事例 No.018

ユーザー : ケミカル・プラント

使用製品 : すべり止めコート・イエロー

施工箇所 : 屋外縞鋼板階段

使用量 : 110セット(2017.3. 25. 現在)

被着体 : 金属

下地準備 : 清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価 : 大好評

備考 : 既存の防滑塗膜を覆うようにして “すべり止めコートのテスト施工を実施し、性能を確認後に採用が決定。構内に約3,200段の縞鋼板の階段があり、順次施工をしている。



[写真-1]

縞鋼板階段。

1液タイプの防滑材を塗布していたが、耐久性に問題があり、十分なすべり止め効果が失われている。

塗工面は、アセトン脱脂で洗浄。

既存の防滑材



[写真-2]

マスキング。

この階段は通行止めに出来ないため、半分ずつ塗工する方式で “すべり止めコート” を塗布することで対応した。

既存の防滑材



[写真-3]

主剤と硬化剤を混合した “すべり止めコート” をヘラで掬って適量塗布面へ置いてゆく。



すべり止めコート施工事例 No.018



[写真-4、5]

縞鋼板へ塗工する際は、短毛ローラーを使用。
長さが23cmあるので、カッターで半分にカットしておく。



[写真-6]

既存の防滑材を覆い隠すように、混合した
すべり止めコートを短毛ローラーにて塗り
広げながら凹凸をつける。



[写真-7]

マスキングテープを剥がして、順次同じ作業を
繰り返しながら階段を下がってゆく。



すべり止めコート施工事例 No.018



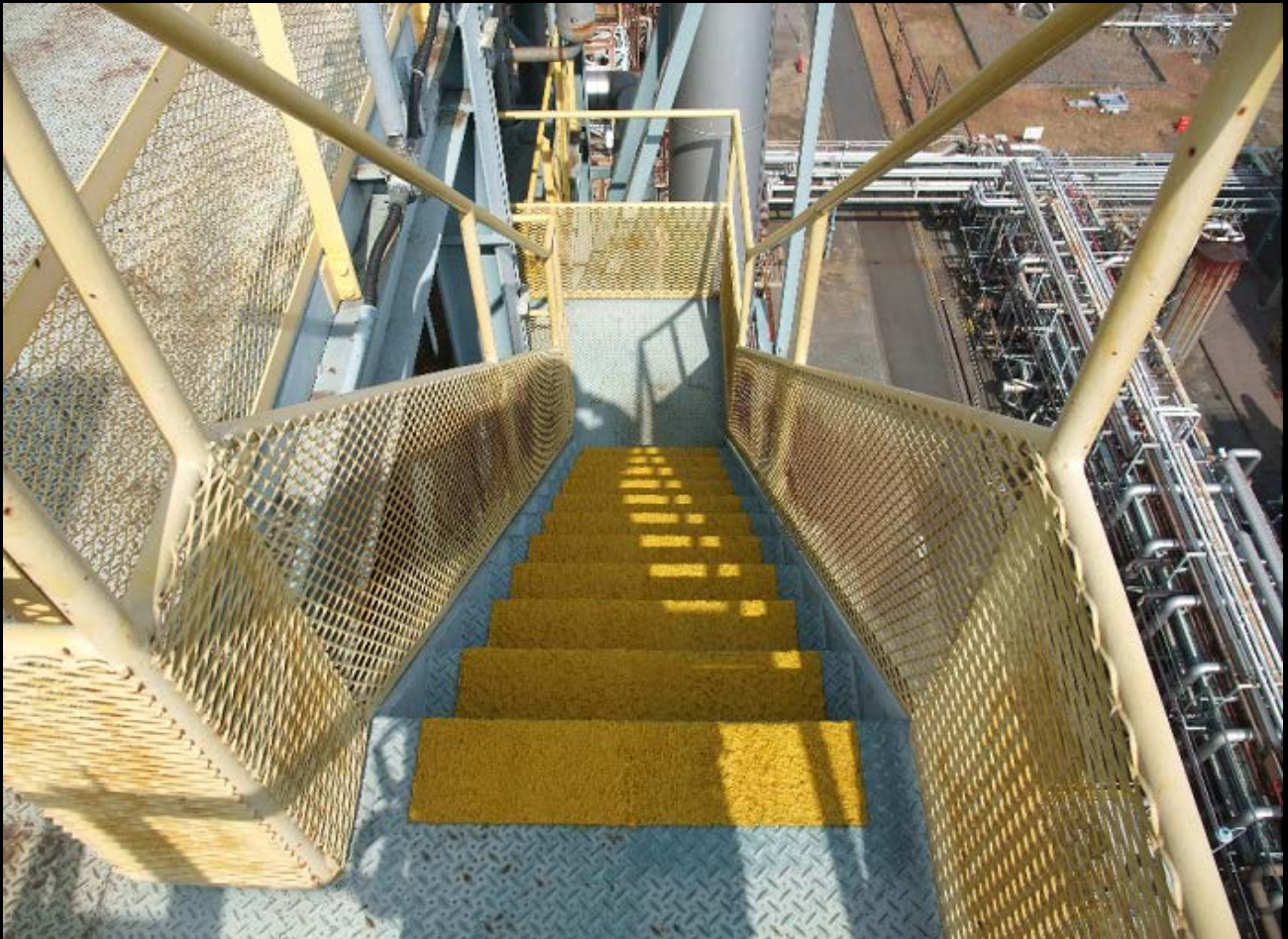
[写真-8]

すべり止めコートが硬化し“歩行可能”になったら同様に塗布作業を実施する。

すべり止めコートの接着力は優秀なので、既存の防滑材や硬化後の“すべり止めコート”とも良好に接着できる。

[写真-9]

すべり止めコートは“防滑性能に優れ”、“耐久性が良く”、“極難燃性(UL-94 V-0適合)”の滑り止め材で火気厳禁、危険物エリアなどでも活躍でき好評を得ている。



以上



すべり止めコート施工事例 No.019

ユーザー：化学プラント

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：ドア前の段差(モルタル/ポーチ)

使用量：1セット未満(1kg)

被着体：モルタル(テスト施工)

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：雨天時、滑ることがあるので防滑にしたいとの要望、及び段差を知らせるための黄色ライン(注意喚起)を形成することの両方の役割を果たせた。



[写真-1]

施工前

事務所出入り口がモルタルのベース。
黄色のラインで、段差の注意喚起を示している。

雨天、滑る時があるというので、
すべり止めコートをテスト施工することに。



[写真-2]

マスキング

従来塗装が適正に密着しているので、
塗装の上から「すべり止めコート」を
塗布することにした。



すべり止めコート施工事例 No.019



[写真-3]
今回は約「1kg」しか必要ないので、
秤を用いて主剤:硬化剤=9:1で
計量した。



[写真-4]
塗工完了

塗り終わったら、直ちにマスキング
を除去し、硬化養生させる。

紙管ローラー仕上げ。

以上



すべり止めコート施工事例 No.020

ユーザー：クリーンセンター

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：台貫／トラックスケール(テスト施工)

使用量：8セット

被着体：金属

下地準備：清掃後、アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：求評中(2018. 4. 末までを評価期間とする。評価開始は2017. 9. 2. ～)

備考：降雨、降雪時に台貫上で車両がスリップして接触事故が発生するので、その解決策としてすべり止めコートが十分な役割を果たすことが可能か、耐久性の評価と共にテスト中。



2018.8. 17. 施工

[写真-1]

クリーンセンター。

廃棄物の重量を測定する「計量棟」でスリップ事故が発生するため、防滑対策でテスト施工を実施。

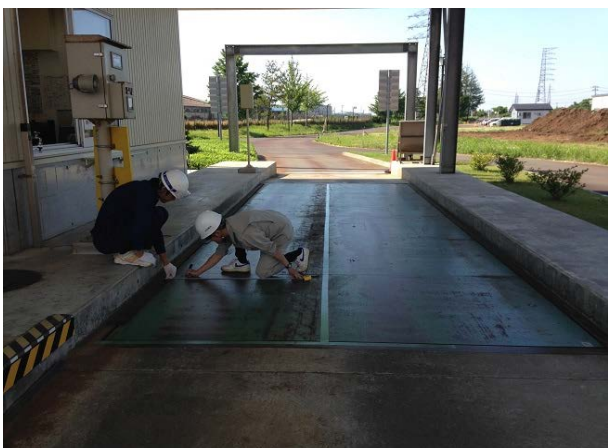
防滑テープは、剥がれて一般車両のタイヤに絡みつくといいアクシデントが発生したことがあり、採用不可となっている。



[写真-2]

塗工前の台貫(トラックスケール)

情報：1日の車輛通行量は150～200台



[写真-3]

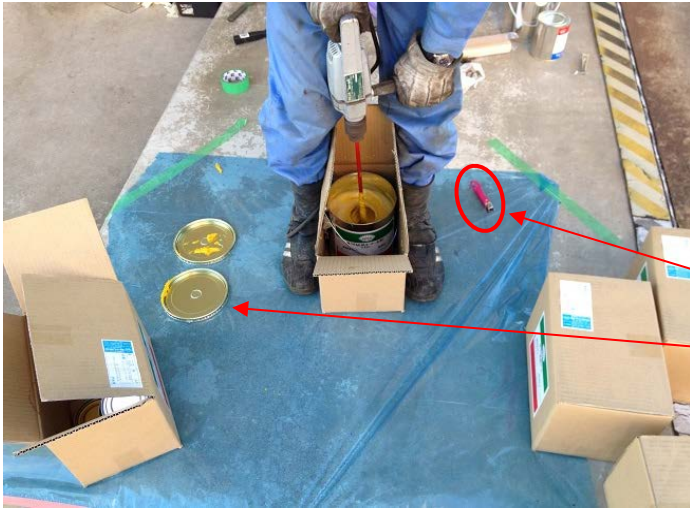
マスキング

入場口側。

写真-5のような塗布をするために、マーキングしている。



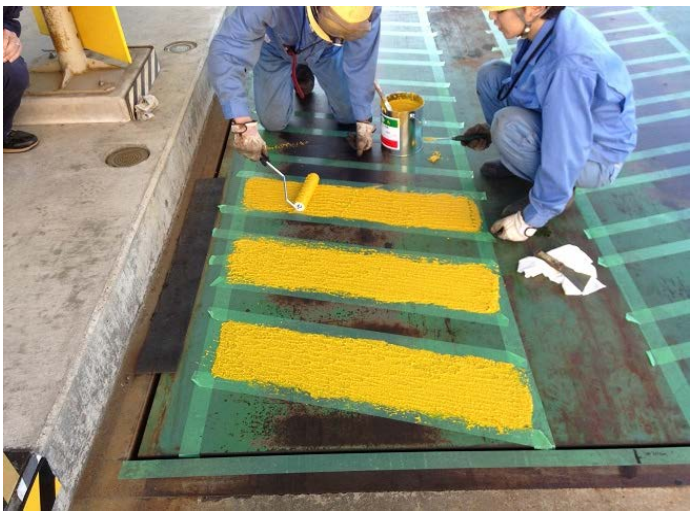
すべり止めコート施工事例 No.020



[写真-4]

ホームセンターで販売している塗料用の攪拌羽根を使って、電気ドリルで主剤と硬化剤を混合する。
約2分間。

全量混合する際は、主剤の容器に硬化剤を全量移し替える。
その際、主剤の缶口を**缶切り**でカットすると、作業がし易い。

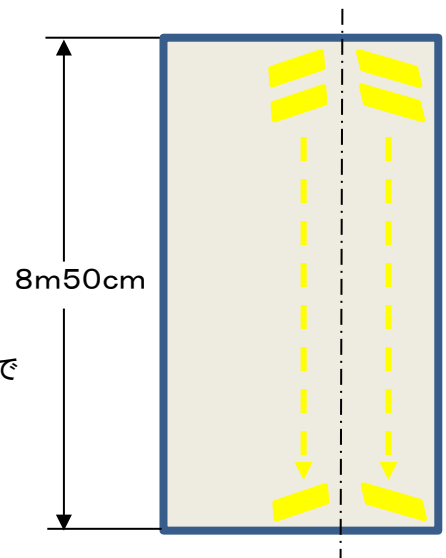
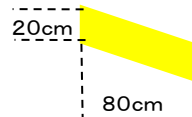


[写真-5]

紙管ローラーで塗布。
車輛の往来方向に対して“直角、になるようにローラーを往復させる。
そうすることで、タイヤへのグリップ力を上げる。



[写真-6]



片側21個の斜めのラインで塗布。

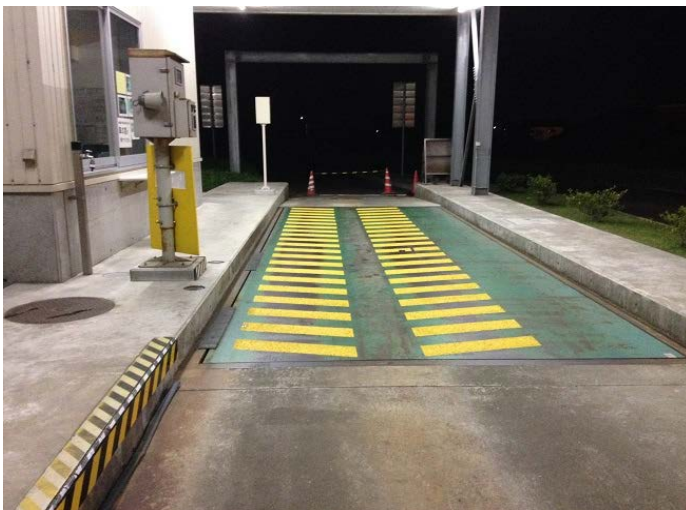


すべり止めコート施工事例 No.020



[写真-7]
退場口側。

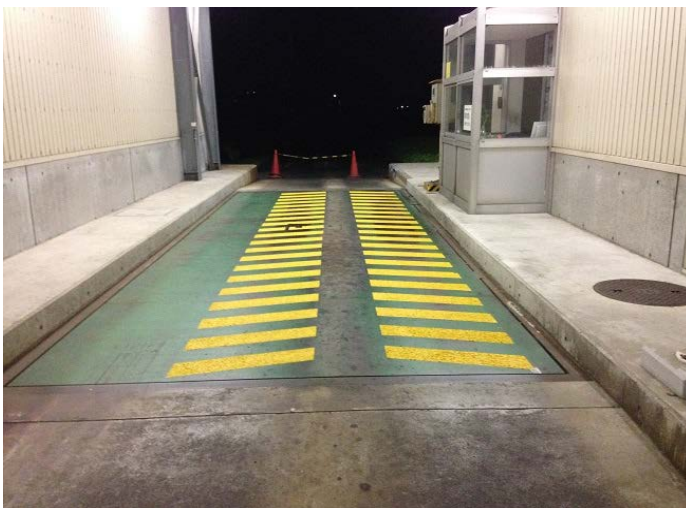
テスト施工は、17時以降でなければ塗工がスタートできない。



[写真-8]
塗布完了
退場口側。

硬化養生は、約36時間。

施工終了:土曜日20時
クリーンセンター開始、月曜日9時

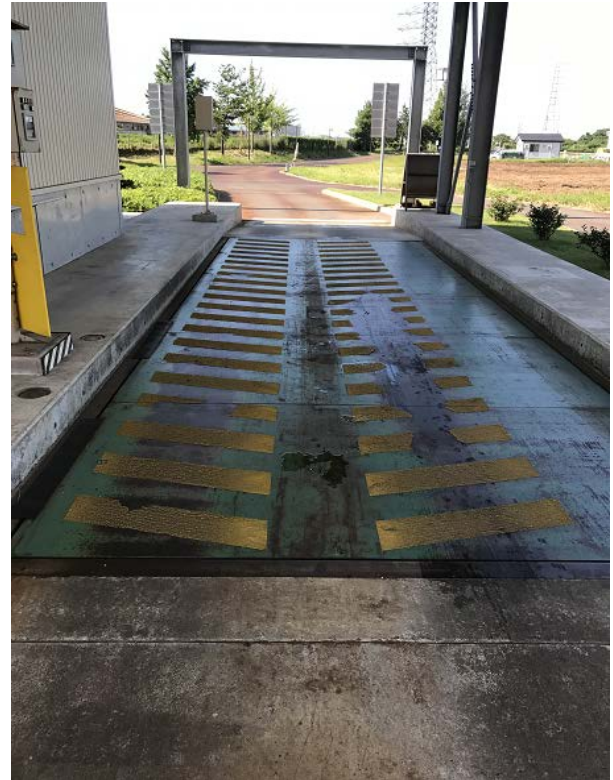


[写真-9]
退場口側。

以上



[写真-10]



[写真-11]



[写真-12]

2018.9. 2. 再施工

[写真-10] [写真-11] [写真-12]

施工直後は、雨天時でもパッカー車(ゴミ収集車)の制動が良く効くと好評で、ドライバーも面白がってブレーキを掛けていたらしいが、半月ほどで徐々に部分剥離が発生し始めた。

北陸・東北地区の清掃センターでは、台貫でのスリップ事故が発生するので問題解決のために、下地処理を適切に行い再度すべり止めコートを塗布することになった。

下地処理

- ①. サンダーケレン
- ②. サンダーケレン + Mプライマー塗布の2種類でテスト。



すべり止めコート施工事例 No.020-1



[写真-13]



[写真-14]



[写真-15]

[写真-13]
スクレーパーで研る

[写真-14]
マスキング後、サンダーケレン実施。

[写真-15]
Mプライマー塗布した場所
サンダーケレン + Mプライマー塗布 / 2時間養生



[写真-16]

[写真-16]
再施工終了。
入口側、出口側で、同じ作業を実施し、来年春まで
状態を確認する。

**所感: ケレン無しの際は、1カ月経たずに剥離が発生
したが、サンダーケレン処理後は半年経過後も
特に問題無く「防滑性能を維持」している。**

以上



すべり止めコート施工事例 No.021

ユーザー：化学プラント

使用製品：すべり止めコート・イエロー

施工箇所：屋外縞鋼板階段(既存塗装の上へ)

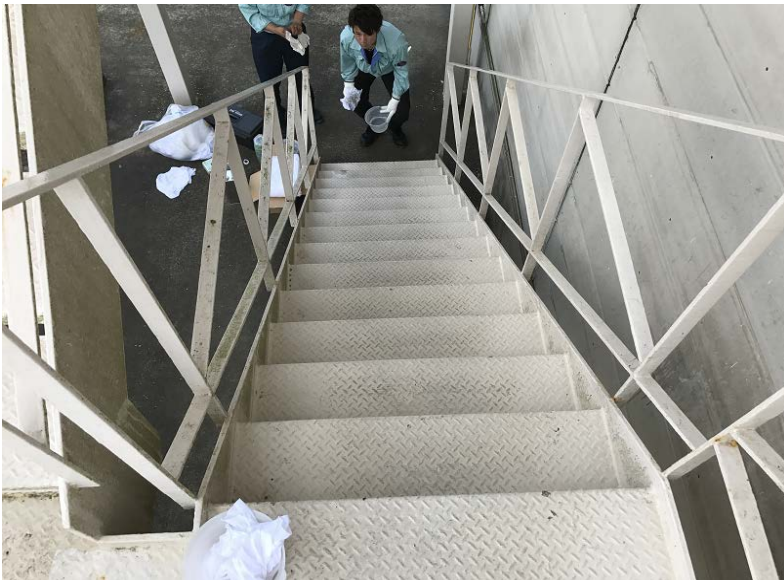
使用量：1セット強使用(約6kg)

被着体：塗装面

下地準備：アセトン脱脂洗浄、マスキング

評価：好評

備考：雨天時、滑ることがあるので防滑にしたいとの要望、注意喚起のための黄色での塗工。



[写真-1]

施工前

アセトンにて脱脂洗浄中。

1F～2Fへ上がる14段のステップ。



[写真-2]

縞鋼板には塗装が施してある。

塗装膜は健全で、アセトンで脱脂洗浄をしても特に問題となる点は無かった。

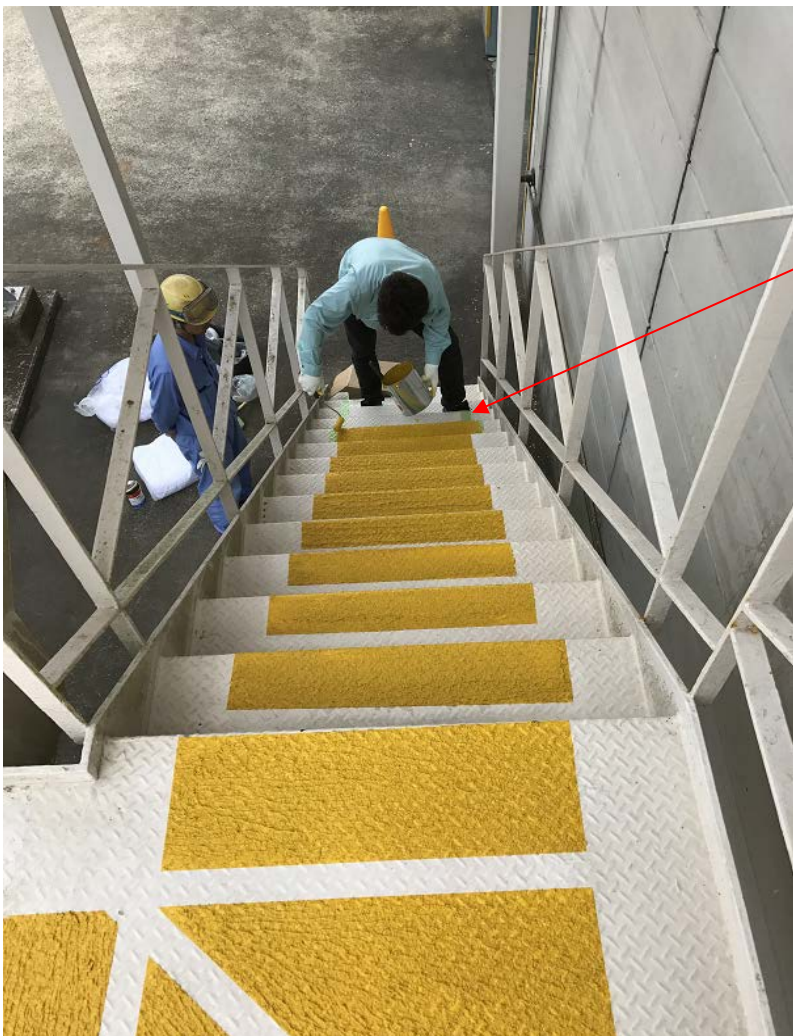


すべり止めコート施工事例 No.021



[写真-3]

1F～2Fへ上がる踊り場と
2Fの踊り場までの13段のステップ。



マスキングテープ(薄緑色)

[写真-4]

塗工中

短毛ローラーにて塗工。

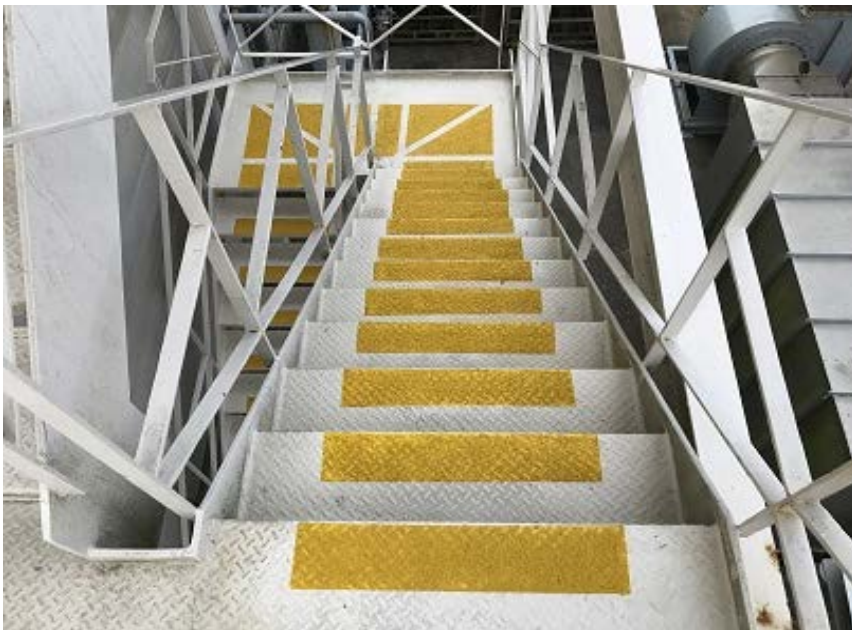
縞鋼板の模様が浮き出るくらいに
薄く塗布するのがコツ。

1段毎に塗布が終了したら、マスキング
を除去してゆく。



[写真-5]
踊り場。

遊び心で、意匠性を加味。



[写真-6]
塗工完了

一晩通行止めにして硬化養生。

以上